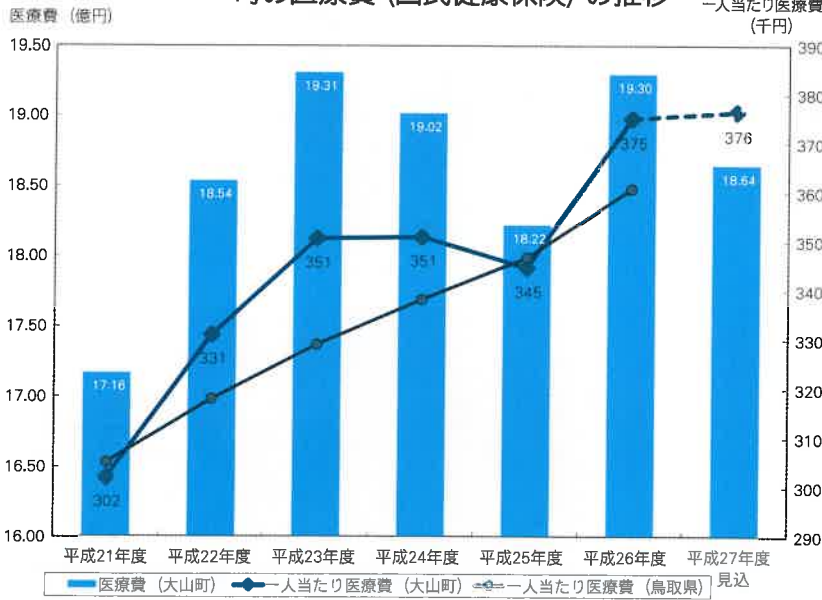


# 毎年健診を受けて 生活習慣病の予防を！

◆問い合わせ先 健康対策課 ☎0859-54-5206  
住民生活課 ☎0859-54-5210

[表 1]

町の医療費 (国民健康保険) の推移



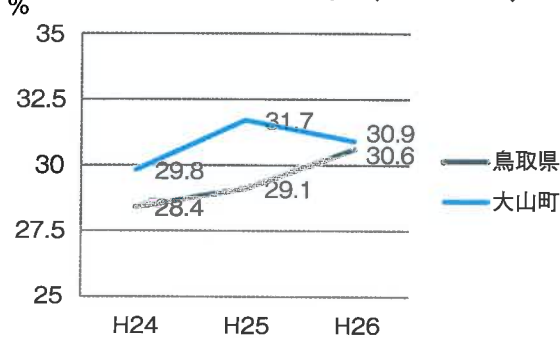
国民健康保険の加入者数は年々減っています。平成21年度約5,690人が、27年度に約4,950人に、6年間で740人減少しています。一方、表1のとおり、医療費総額は高額の状態のまま、年によって増減しています。そして27年度は医療費総額が前年度よりも減少しているに

もかわらず、一人あたりの医療費は最高のまま横ばいの状況となりました。近年の医療費の高騰は、生活習慣病などによる高額で継続的な疾病の増加や、医療技術の高度化によるものと考えられ、医療費が高くなると、加入者の負担(国保税)も増えることにつながります。

「医療費さらに増大」が心配！

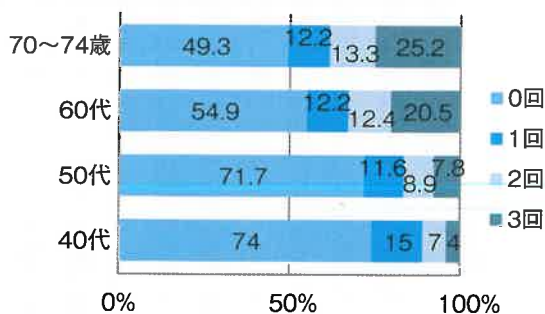
[表 2]

国保特定健診受診率 (H24~26)



[表 3]

経年受診履歴 (H24~26)



40~50代の人の受診率が気になります

国保の26年度特定健診受診率は、前年度より若干減少し県平均とほぼ同じくらいです(表2)。全体としては約3割の方が特定健診を受診しておられることとなります。しかし、40~50代の方の7割は過去3年間全く受診しておられず、若い年代の方ほど健診を

受ける習慣が少ないことがわかります(表3)。生活習慣病の予防は、若い時から早めに取り組むことが大変重要になってきています。ご自身がいつまでも元気に生活するために、若い時から毎年健診を受けることをぜひ習慣にしましょう。